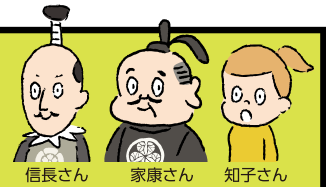


どんな薬? 「ジェネリック医薬品」



花粉症の季節がやってきた

病院で薬を処方してもらわないと...



この時期は薬代が家計にひびく...



1

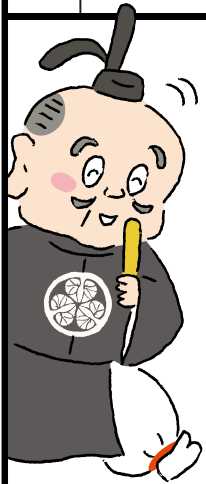


そんなときは、いつもの薬(新薬)をジェネリック医薬品に変えてみてはどうじゃ?

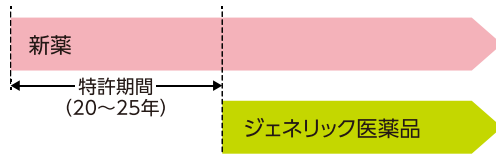
ジェネリック医薬品って聞いたことあるけど、どんな薬ですか?



2



ジェネリック医薬品とは、新薬の特許期間が切れたあとに製造・販売される薬じゃ。薬の開発費用が抑えられるから**3~5割ほど安くなる**場合があるぞ!



3

さらに!

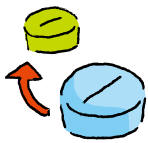
ジェネリック医薬品は**新薬と同じ有効成分を同じ量**含んでいて、厚生労働省から**同じ効き目・安全性であると認められている**のじゃ!



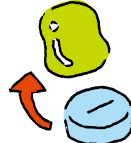
4

飲みやすく工夫されたジェネリック医薬品もあるぞ! /

錠剤の大きさを小さく



錠剤をゼリー状や液状に変更



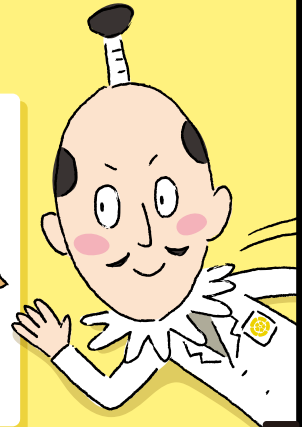
間違っって飲まないように文字や色で工夫



味やにおいを改良



水なしでも服用できる錠剤へ



5

ジェネリック医薬品の中には、新薬よりも**製剤上の工夫が施されている**ものや、子どもや高齢者にも**飲みやすく工夫された**ものもあるのじゃ!



ジェネリック医薬品を使って薬代を節約すると**国の医療費節減**にもつながるぞ!

まずは、**かかりつけ医や薬剤師に相談**するのじゃ!

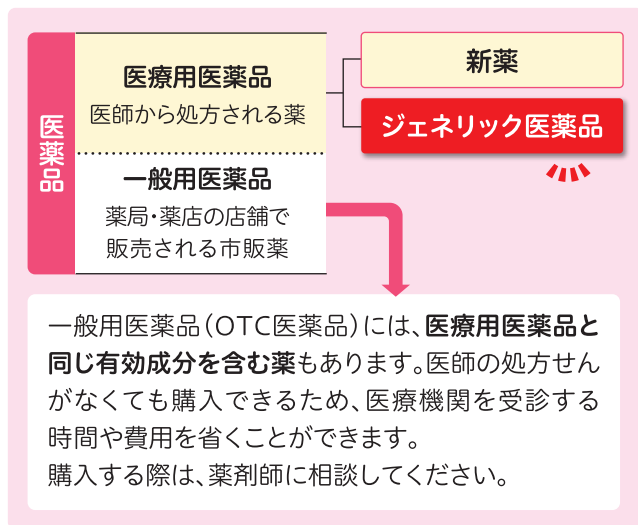


6

家計にやさしい！ ジェネリック医薬品

新薬と ジェネリック医薬品の ちがってなに？

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許期間満了後に製造・販売される薬です。



ジェネリック医薬品は なんで安いのか？

新薬の開発には長い年月と莫大な費用がかかるため、販売される新薬には研究・開発費用も含まれています。

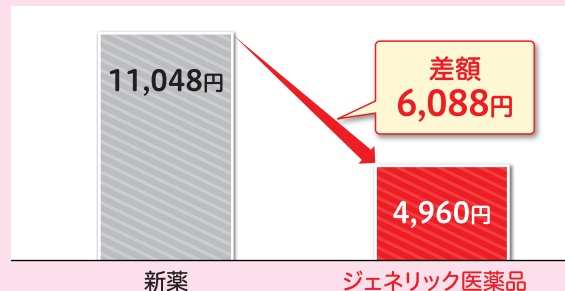
一方、ジェネリック医薬品は**新薬と同じ有効成分を利用して開発されるため、開発期間やコストが大幅に抑えられ、低価格**で提供することができます。

どのくらい安くなるのか？

新薬よりも**3～5割ほど安くなる**場合が多く、複数の薬の服用や長期服用が必要な方にはとくに効果的です。

■ 高血圧の場合

高血圧の薬を1日1錠365日服用したと仮定
※自己負担3割の場合



参考:日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会「注目の医療用医薬品「ジェネリック」のすべて」



ポイント

ジェネリック医薬品を使用して「薬代(医療費)を節約する」ことで、日本の「医療保険制度の維持」にも貢献できる！



ジェネリック医薬品には、高血圧や糖尿病などの生活習慣病をはじめ、身近な疾病でもある花粉症や風邪などにもジェネリック医薬品が普及しています。

(ジェネリック医薬品が存在しない新薬や、在庫がない場合もあります。)

まずは、
かかりつけ医や
薬剤師に
相談しましょう



健康保険料率の引き上げ抑制につながることも

協会けんぽでは、平成30年度から「インセンティブ(報奨金)制度」を導入しています。インセンティブ制度とは、5つの評価指標の取組みに応じて47都道府県支部を順位づけし、上位15支部の健康保険料率にインセンティブが反映される制度です。(令和3年度 愛知支部の総合順位:26位)



インセンティブ制度について
詳しくはこちらをチェック



「ジェネリック医薬品の使用割合」も評価指標の一つであり、愛知支部のこの指標は12位(令和3年度)。前年度との伸び率が順位に反映されるため、まだまだ伸びしろがあるぞ。使用割合が上がると、みなが納める健康保険料率の引き上げを抑えることにもつながるのじゃ！

令和3年度の結果は
令和5年度の保険料率
に反映されるぞ！

